

キリスト教教理入門

1. 神学をすること
2. 神の啓示
3. 神の性質
4. 神のみわざ
5. 人間
6. 罪
7. キリストの人格
8. キリストのみわざ
9. 聖霊
10. 救い
11. 教会
12. 終末

第四部 神のみわざ

- 12章 神の計画
- 13章 神の原初のみわざ：創造
- 14章 神の継続的働き：摂理
- 15章 悪と神の世界：特殊な問題
- 16章 神の特別な代理人：天使

第12章 神の計画



1. 鍵となる定義
2. 聖書の教え
 1. 用語
 2. 旧約聖書の教え
 3. 新約聖書の教え
3. 神の計画の性質
4. 論理的優先順位: 神の計画か人の行為
5. 穏健カルヴァン主義
6. 歴史についての種々の理解

1. 鍵となる定義

1. 神の計画とは？
2. 用語を明確にする。

2. 聖書の教え： 旧約聖書の教え

1. 愛に満ちた人格のお方
2. 雨を送られる神
3. 悪者さえ、くじ投げさえ

2. 聖書の教え： 新約聖書の教え

1. イエス：神の計画のゆえに必ず
2. 使徒たち：神の計画と予知のゆえに
3. パウロ書簡：生まれる以前から

3. 神の計画の性質

1. 永遠の昔から
2. 神の側で自由なもの
3. 目的は神の栄光
4. 全包括的
5. 有効性
6. 神の決定・行為
7. 創造・保持・導き・贖い
8. 人間の行為も含む
9. 詳細においても不変

5. 穏健カルヴァン主義モデル

1. 神の計画の無条件の性質

1. 聖書における「予知」の概念とは？
2. ヤコブとエサウ、陶器師と土のかたまり

5. 穏健カルヴァン主義モデル

2. 人間の自由の意味

1. 「確かにする」と「必要とする」
2. 「私が自由である」とは？
3. 誰が諸要素を決定したのか？
4. 私がどのような者であるかによって
5. 相応主義について

5. 穏健カルヴァン主義モデル

1. 神の意志と人間の自由

1. 予測の可能性
2. 自由の定義
3. 予知と予定の相違

5. 穏健カルヴァン主義モデル

4. 神の願いと神の意志

1. 「確かにする」ことと殺人
2. 神の「願い」と神の「意思」
3. 両親と子供

5. 穏健カルヴァン主義モデル

5. 神の意志と人間行為の必要

- 伝道・証しは、神の手段

6. 歴史についての種々の見解

1. 循環的な歴史観
2. 最後の審判の日の哲学
3. 悲観的な哲学: 実存主義
4. 楽観的な見方: 進化論的
5. 弁証法的唯物主義: 共産主義
6. 明確なゴール: キリスト教歴史観